

2020 年度 小委員会活動成果報告

(2021 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	都市環境デザイン小委員会	主 査 名：浅輪貴史 就任年月：2020 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (都市環境・都市設備運営委員会)	委員長名：持田灯 主 査 名：宮崎ひろ志
設 置 期 間	2020 年 4 月 ～ 2023 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>顕在化する温暖化影響と気候変動適応策に向けた研究深化と社会実装は喫緊の課題である。建築分野に対しても、低炭素社会づくり、温暖化適応社会の構築をはじめとして多くの社会的貢献が求められている。</p> <p>本小委員会は、都市環境工学分野から貢献方法を議論し、これまでの研究の蓄積を再整理するとともに、新たに取り組むべき課題、具体的な都市デザインに展開可能な指針のあり方等についての議論を促すことを目的とする。</p> <p>初年度：都市設備分野を中心に最新情報の共有、研究の蓄積の再整理、及び実例のスタディを通じて、都市環境・都市設備分野からの貢献方法を議論する。 「第 9 回都市環境デザインフォーラム」を企画し、実施する。</p> <p>2 年度：都市環境分野を中心に研究の蓄積を都市環境デザインへつなげる方法について議論する。また、新たにに取り組むべき課題、具体的な都市デザインに展開可能な指針のあり方等について議論する 「第 10 回都市環境デザインフォーラム」を企画し、実施する。</p> <p>3 年度：これまでの 10 回を振り返り、環境工学分野からの貢献、情報発信のあり方などを再検討し、今後の展開について議論を行う。 「第 11 回都市環境デザインフォーラム」を企画し、実施する。</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無 ：無し 主査：浅輪貴史 (東京工業大学) 幹事：熊倉永子 (国土技術総合政策研究所) 委員：川久保俊 (法政大学)、三坂育正 (日本工業大学)、竹林英樹 (神戸大学)、吉田聡 (横浜国立大学)、田中貴宏 (広島大学)、赤川宏之 (大林組)、原英嗣 (国土館大学)、小柳秀光 (北海学園大学)、増田幸宏 (芝浦工業大学)、平山由佳理 (株式会社ミサワホーム総合研究所)、熊倉永子 (国土技術総合政策研究所)、佐々木澄 (清水建設)、宮崎ひろ志 (関西大学)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2020 年度予算	120000 円	ホームページ公開の有無 ： 委員会 HP アドレス ：

項 目	自己評価
委員会開催数	1 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	1. 公開合同委員会 「暑熱環境と人体熱ストレス評価」 参加者数 115 名 2020 年 12 月 12 日 (土) 開催
大会研究集会	1. (名称) 参加者数 名 (資料名)

<p>対外的意見表明・パブリックコメント等</p>	
<p>目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)</p>	<p>1. コロナの影響で、委員会が公開合同委員会を除いて開催できなかった。 2. 当初計画をしていた「都市環境デザインフォーラム」がコロナの影響で開催できなかったが、公開合同委員会「暑熱環境と人体熱ストレス評価」を新たに企画して開催した。</p>
<p>委員会活動の問題点・課題</p>	<p>1. コロナ禍でのオンラインでの委員会開催を、今後実施してゆく必要がある。 2. 「都市環境デザインフォーラム」を、今後オンライン開催も視野に入れて企画をしてゆく必要がある。</p>

2020 年度 小委員会活動 自己評価

(○中間年度評価・最終年度評価)

総合評価 (4段階評価)	A ○B C D
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	<p>コロナ禍で、委員会開催が十分にできず、また計画をしていた「都市環境デザインフォーラム」の開催もできなかったが、その中でも、公開合同委員会「暑熱環境と人体熱ストレス評価」を急遽企画をしてオンラインで開催をすることができ、100名を超える参加者があったことから、一定の成果は得られたと考えている。</p>

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。